

市民が集まり、憩い、楽しめる緑豊かな場所にいたしましょう



森の中の高知駅



高知を愛する皆様へ（「お知らせ」令和4年8月号）

令和4年8月1日

7月17日（日）、朝は幸いまだ日差しが弱く、ボランティア一同、南口電停脇の「みんなの庭」で無事草引きを終えました。夏場の汗シゴトご苦労様でした。（下の写真は現地）

8月の共同作業はお休みといたします。

9月の活動日は11日（日）08：30～10：00を予定しています。

○トピックス：

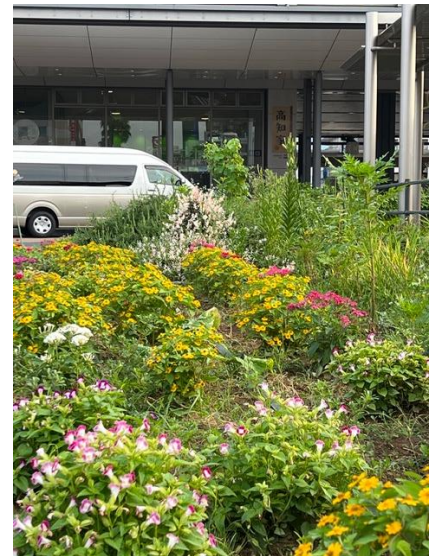
— 7月15日（金）、高知市みどり課と市長室を訪問、緑化をうったえる「お知らせ7月号」を配布するとともに、子供たちの手による牧野博士サクラ植樹（駅前）を提案しました。



作業風景です。



季節の花コスモス



育つ夏花たち

駅前緑化活動はご賛同の方々のご厚志で維持されております。引き続き皆様のお力添え（花苗持ち寄り、勤労奉仕、ご寄付など）をお願い申し上げます。

♥森の中の高知駅♥

幹事連絡先：〒780-0042 高知市洞ヶ島町1-11

中田昌志 携帯電話：090-8849-3651 E-mail：m.nakata1941@gmail.com

公文敏雄 携帯電話：090-7016-3743 E-mail：kumont2@yahoo.co.jp

ホームページ：<http://mori-kochi-ekijimdo.com/>

取引銀行：四国銀行よさこい咲都支店「森の中の高知駅 ナカタマサシ 代表中田昌志」名義 普通 0709695

快適なみちづくりを！（大阪市の試み）

御堂筋、道頓堀・・・社会人になりたての数年間をすごした昭和の大阪は、筆者にとって思い出の街です。何とはなく大阪市のホームページを眺めていたら、「今の御堂筋、未来の御堂筋」の写真が載っていました（下の写真）。

「地方都市」の例に漏れず地盤低下に悩む大阪市は、「車中心から人中心のにぎわい空間」への転換によって、中心街の活力再生を目指しているそうです。はっきりしたビジョンを持って街づくりを進めている大阪に声援を送りたいと思います。



「御堂筋将来ビジョン」（車道を廃止）



現在の御堂筋風景（右端が車道）

「みち」は昔から「通行の手段」として利用されてきましたが、クルマの発達と共に人間が疎外されているのではないかという問題意識から、人間中心の「ストリートデザイン」を研究して実践していこうという動きが広がっています。

専門家は、「みち」は単に通る場所ではなく、いろんな役割があるはずだと言います。例えば、立ちどまり、休憩することができる。

日陰があって快適。

空気がきれいで騒音がひどくない。

安心、リラックスできる。

歩きやすい、段差が無い（ユニバーサル）。

見に行きたい、やりに行きたい場所がある。



高知でも、追手筋や駅前－はりまや通りあたりをモデルケースとして、理想的な「みち」づくりを考えてみてはいかがでしょうか？（下の写真は高知銀行 HP より）

